

各 位

2016年5月25日
株式会社リットーミュージック

ザ・ビートルズ来日 50 周年記念！1966 年のリンゴ・スター
『リズム&ドラム・マガジン 2016 年 7 月号』、本日発売



インプレスグループで音楽関連の出版事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古森優）は、5月25日、打楽器専門誌『リズム&ドラム・マガジン 2016年7月号』を発売します。

● 表紙特集

ザ・ビートルズ来日 50 周年記念！1966 年のリンゴ・スター

表紙特集では、ザ・ビートルズの来日 50 周年を記念してリンゴ・スターを大フィーチャー。今回は“1966 年のリンゴ・スター”と題して、武道館公演が行われ、ビートルズとリンゴにとってターニング・ポイントとなった 66 年にフォーカスします。武道館公演でリンゴが使用した愛器とほぼ同スペックの機材から魅惑のサウンドの秘密を探る他、奏法研究、盟友＝ジム・ケルトナーが語るリンゴの秘話、そして 1 万字を超える本人の最新インタビューまで、大特集！ 66 年当時の貴重な写真も多数掲載した、まさに永久保存版です。



1965 Ludwig Oyster Black Pearl "Super Classic" - Back View

1965年製のオースター・パール・ドラム・セットのバックビュー

オースター・パール・ドラム・セットのバックビュー。このドラム・セットは、1965年に製造されたもので、オースター・パール・ドラム・セットのバックビューです。

オースター・パール・ドラム・セットのバックビュー。このドラム・セットは、1965年に製造されたもので、オースター・パール・ドラム・セットのバックビューです。

オースター・パール・ドラム・セットのバックビュー。このドラム・セットは、1965年に製造されたもので、オースター・パール・ドラム・セットのバックビューです。

オースター・パール・ドラム・セットのバックビュー。このドラム・セットは、1965年に製造されたもので、オースター・パール・ドラム・セットのバックビューです。

オースター・パール・ドラム・セットのバックビュー。このドラム・セットは、1965年に製造されたもので、オースター・パール・ドラム・セットのバックビューです。

オースター・パール・ドラム・セットのバックビュー。このドラム・セットは、1965年に製造されたもので、オースター・パール・ドラム・セットのバックビューです。

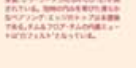
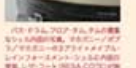
バス・ドラム



フロア・タム



タム



オースター・パールのバス・ドラムは、当時のさまざまな写真から推測すると、両面に同じもの、フロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドのコーティングが施されていたと推測されます。当時のドラマーは、バス・ドラムのヘッドにフロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。当時のドラマーは、バス・ドラムのヘッドにフロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。

バス・ドラムのフロッグ・ヘッドは、Ludwig「フロッグ」のヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。当時のドラマーは、バス・ドラムのヘッドにフロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。

バス・ドラムのフロッグ・ヘッドは、Ludwig「フロッグ」のヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。当時のドラマーは、バス・ドラムのヘッドにフロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。

バス・ドラムのフロッグ・ヘッドは、Ludwig「フロッグ」のヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。当時のドラマーは、バス・ドラムのヘッドにフロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。

バス・ドラムのフロッグ・ヘッドは、Ludwig「フロッグ」のヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。当時のドラマーは、バス・ドラムのヘッドにフロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。

オースター・パールのバス・ドラムは、当時のさまざまな写真から推測すると、両面に同じもの、フロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドのコーティングが施されていたと推測されます。当時のドラマーは、バス・ドラムのヘッドにフロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。

バス・ドラムのフロッグ・ヘッドは、Ludwig「フロッグ」のヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。当時のドラマーは、バス・ドラムのヘッドにフロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。

バス・ドラムのフロッグ・ヘッドは、Ludwig「フロッグ」のヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。当時のドラマーは、バス・ドラムのヘッドにフロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。

バス・ドラムのフロッグ・ヘッドは、Ludwig「フロッグ」のヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。当時のドラマーは、バス・ドラムのヘッドにフロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。

バス・ドラムのフロッグ・ヘッドは、Ludwig「フロッグ」のヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。当時のドラマーは、バス・ドラムのヘッドにフロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。

オースター・パールのバス・ドラムは、当時のさまざまな写真から推測すると、両面に同じもの、フロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドのコーティングが施されていたと推測されます。当時のドラマーは、バス・ドラムのヘッドにフロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。

バス・ドラムのフロッグ・ヘッドは、Ludwig「フロッグ」のヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。当時のドラマーは、バス・ドラムのヘッドにフロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。

バス・ドラムのフロッグ・ヘッドは、Ludwig「フロッグ」のヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。当時のドラマーは、バス・ドラムのヘッドにフロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。

バス・ドラムのフロッグ・ヘッドは、Ludwig「フロッグ」のヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。当時のドラマーは、バス・ドラムのヘッドにフロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。

バス・ドラムのフロッグ・ヘッドは、Ludwig「フロッグ」のヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。当時のドラマーは、バス・ドラムのヘッドにフロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。

Snare Drums

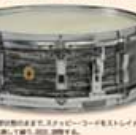
1962 Ludwig Blue Oyster Pearl "Jazz Festival"



1962年製のオースター・パール・ドラム・セットのバックビュー。このドラム・セットは、1962年に製造されたもので、オースター・パール・ドラム・セットのバックビューです。



Early 60s Ludwig Black Oyster Pearl "Jazz Festival"



1963 Ludwig Black Oyster Pearl "Jazz Festival"



オースター・パールのバス・ドラムは、当時のさまざまな写真から推測すると、両面に同じもの、フロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドのコーティングが施されていたと推測されます。当時のドラマーは、バス・ドラムのヘッドにフロッグ・ヘッドとオースター・ヘッドの両方を装着していたと推測されます。

● close up!

70th Anniversary Special

ラインナップが一新! “変革”の70年目に迫る!! PEARL DRUMS “ReBORN”

2016年で創立70周年を迎え、ラインナップが一新された“PEARL DRUMS”のアニバーサリー企画。生まれ変わったドラム・キット&スネア・ドラム&ハードウェアや限定アニバーサリー・モデルを“パール・ドラマー”の村石雅行と Yuumi がチェックした試奏レポートを軸に、今でも現役で活躍する往年の名器たちを歴史と共に振り返るページなど、“変革の70年”を紐解いていきます。

● 特別企画

世界が熱狂する魅惑の“三重奏”! ピアノ・トリオを彩る“個性派”ドラマーたち feat.

- ダミアン・リード [ロバート・グラスパー・トリオ]
- マーカス・ギルモア [ヴィジェイ・アイヤー・トリオ]
- スタントン・ムーア [スタントン・ムーア・トリオ]
- ロバート ‘スパット’ シーライト [ビル・ローレンス]
- エヴァン・ジェンキンス [ニール・カウリー・トリオ]
- ニコラス・シャリエ [トーマス・エンコ・トリオ]
- ジョン・パーカー [トライコトミー]
- ジヴ・ラヴィッツ [シャイ・マエストロ・トリオ]
- アーサー・ナーテク [ティグラン・ハマシアン]
- 石若 駿 [ai kuwabara trio project]

清水勇博 [西山 瞳トリオ・パララックス]

井上 司 [fox capture plan]

シンプルながらも自由度の高い編成で、常にジャズ・シーンをリードし続けてきたピアノ・トリオ。音楽のボーダレス化が進んだ現在ではR&B、ヒップホップ、エレクトロニックなど、さまざまなジャンルのニュアンスを融合させた、新感覚のサウンドを鳴らすピアノ・トリオが次々と登場し、シーンを賑わせています。今回の特別企画は魅惑の“三重奏”を個性的なアプローチで牽引する凄腕ドラマーにフォーカスし、彼らの特徴的なプレイを紹介していきます。

《雑誌》

『リズム&ドラム・マガジン 2016年7月号』

□定価：926円（本体857円＋税）

□仕様：A4変型判／168ページ

□発売：2016年5月25日

□発売：リットーミュージック

詳細はこちら <http://www.rittor-music.co.jp/magazine/dm/>

リズム&ドラム・マガジン Web <http://rittor-music.jp/drum/>

【株式会社リットーミュージック】 <http://www.rittor-music.co.jp/>

□所在地：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング □設立：1978年4月10日 □資本金：1億円 □決算期：3月31日 □従業員数：93名（2014年3月31日現在） □代表取締役：古森優 □事業内容：音楽関連出版事業

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：関本彰大、証券コード：東証1部9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ＋サービスを提供するメディア事業を展開しています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック デジタルマーケティング室 宣伝広報

Tel: 03-6837-4728/ E-mail: pr@rittor-music.co.jp